



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社

コード番号 8098 URL <http://www.inabata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 横田 健一 TEL 03-3639-6421

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	288,843	△1.3	5,679	△4.3	6,416	△4.8	4,677	△2.3
28年3月期第2四半期	292,740	5.4	5,932	15.8	6,739	△2.4	4,785	△5.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 10,104百万円 (－%) 28年3月期第2四半期 △1,015百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	75.32	—
28年3月期第2四半期	76.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	321,137	135,793	42.0
28年3月期	305,436	127,025	41.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 134,728百万円 28年3月期 126,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	20.00	36.00
29年3月期	—	18.00	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	2.2	11,500	1.1	12,500	2.0	9,000	△5.4	144.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	63,499,227株	28年3月期	63,499,227株
29年3月期2Q	1,402,271株	28年3月期	1,402,268株
29年3月期2Q	62,096,958株	28年3月期2Q	62,697,138株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を始めとするアジア新興国の景気減速など弱さもみられましたが、全体として緩やかな景気回復が続きました。

一方、日本経済は、雇用情勢の改善が進んでいるものの、新興国や資源国経済の下振れ懸念がある中、企業の設備投資や個人消費が伸び悩み、景気の足踏み状態が続きました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、288,843百万円（対前年同期比1.3%減）となりました。利益面では、営業利益5,679百万円（同4.3%減）、経常利益6,416百万円（同4.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,677百万円（同2.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(情報電子事業)

情報電子事業は、主力商材の販売伸長により売上が増加しました。

液晶関連では、偏光板原料の販売が低調でしたが、北東アジアにおける偏光板の販売は伸長しました。

インクジェットプリンター関連では、関連部材の販売が、産業用分野では伸長したものの、コンシューマー分野では減少し、全体として低調でした。

複写機関連では、国内主要顧客向けの材料販売が堅調でしたが、全体では低調でした。

太陽電池関連では、国内のメガソーラー向けの販売や、欧州での部材の販売が伸長しました。二次電池関連の材料の販売は伸長しました。

半導体関連では、材料・装置共に販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は111,510百万円（同4.3%増）となりましたが、利益率の低下等もありセグメント利益（営業利益）は1,591百万円（同25.2%減）となりました。

(化学品事業)

化学品事業は、パフォーマンスケミカル関連が堅調に推移し、スペシャルティケミカル関連も横ばいでしたが、為替等の影響もあり、全体として売上が減少しました。

パフォーマンスケミカル関連では、塗料関連の販売が低調でしたが、インキ用カーボンの販売が伸長しました。ニトロセルロースの輸入販売は減少しました。製紙業界向け薬剤の販売は伸長しました。中国では、塗料・インク向け顔料の原料や中間体の販売が好調でした。

スペシャルティケミカル関連では、自動車分野においてエアバック用原料の販売が伸長しましたが、難燃剤の販売が減少しました。樹脂原料・添加剤の販売は堅調でした。

これらの結果、売上高は23,253百万円（同6.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は498百万円（同4.9%減）となりました。

(生活産業事業)

生活産業事業は、食品関連が低調でしたが、医薬関連の好調により売上が増加しました。

ライフサイエンス関連では、医薬分野において国内向け新薬用原料、ジェネリック用原薬等の販売が全般的に好調でした。中国では、医薬中間体原料や健康ドリンク用原料の販売が伸長しました。防・殺虫剤原料は在庫調整もあり販売が低調でした。

食品関連では、水産品において国内でのエビ、貝類の販売が伸長しました。農産品では、ブルーベリーを中心に冷凍果実・果汁の販売が減少しました。

これらの結果、売上高は19,773百万円（同8.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,012百万円（同76.9%増）となりました。

(合成樹脂事業)

合成樹脂事業は、注力分野である自動車関連の販売が伸長しましたが、全体としては円高や原油安に伴う販売単価の下落の影響により売上が減少しました。

汎用樹脂関連では、日用品・食品容器関連の樹脂の販売が減少しました。建材・電線向けの販売は低調でした。

高機能樹脂関連では、国内外共に自動車向け樹脂の販売が概ね好調でした。中国では、日系・非日系向け共に販売が伸長しました。インドネシアでは、車両、OA向けの販売が伸長しました。フィリピンのコンパウンド拠点は、受注が伸び悩み苦戦しました。

フィルム・シート関連では、コンビニ向け日用品や飲料関連の販売が堅調でした。電子部品包材用の販売は堅調でした。

スポーツ資材関連では、グリップテープの北米向け販売が減少しました。

これらの結果、売上高は121,531百万円(同7.1%減)となり、セグメント利益(営業利益)は2,339百万円(同4.5%減)となりました。

(住環境事業)

住環境事業は、住宅建材関連及び環境資材関連共に好調で売上が増加しました。

住宅建材関連では、建材メーカー向け輸入資材の販売が低調でしたが、大手ハウスメーカー向けや木質ボード向けの資材販売が伸長しました。

環境資材関連では、住宅設備機器メーカー向け資材の販売が低調でしたが、海外販売や非住宅分野向けの資材販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は12,683百万円(同7.3%増)となり、セグメント利益(営業利益)は162百万円(同13.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて15,701百万円増加(対前期末比5.1%増)し、321,137百万円となりました。

流動資産の増加2,587百万円は、主に商品及び製品並びにその他が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

固定資産の増加13,114百万円は、主に有形固定資産が減少したものの、投資有価証券が時価の上昇に伴い増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,933百万円増加(同3.9%増)し、185,344百万円となりました。

流動負債の増加1,389百万円は、主に短期借入金並びにその他が減少したものの、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。

固定負債の増加5,544百万円は、主として長期借入金並びにその他が増加したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて8,767百万円増加(同6.9%増)し、135,793百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金並びにその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.0%(前連結会計年度末より0.7ポイント増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、売上債権の増加額が税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加額を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比して993百万円減少の16,094百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は4,083百万円（前年同期は1,913百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の増加額及び法人税等の支払額が税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加額を上回ったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は1,437百万円（前年同期は80百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入及び投資有価証券の売却による収入が、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出を上回ったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は2,940百万円（前年同期は4,167百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額及び長期借入れによる収入が長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額を上回ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,315	19,972
受取手形及び売掛金	145,565	155,745
商品及び製品	41,472	38,513
仕掛品	526	503
原材料及び貯蔵品	2,824	2,806
その他	11,930	8,725
貸倒引当金	△1,188	△1,233
流動資産合計	222,446	225,033
固定資産		
有形固定資産	11,266	10,558
無形固定資産	3,585	3,445
投資その他の資産		
投資有価証券	62,715	77,036
退職給付に係る資産	2,502	2,485
その他	3,599	3,673
貸倒引当金	△679	△1,095
投資その他の資産合計	68,137	82,099
固定資産合計	82,989	96,104
資産合計	305,436	321,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,264	88,419
短期借入金	44,384	42,162
未払法人税等	2,046	1,806
賞与引当金	1,123	1,251
その他	7,328	5,896
流動負債合計	138,147	139,536
固定負債		
長期借入金	23,993	25,116
役員退職慰労引当金	32	32
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	1,291	1,340
その他	14,927	19,300
固定負債合計	40,263	45,808
負債合計	178,410	185,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,708	7,708
利益剰余金	75,909	79,344
自己株式	△1,177	△1,177
株主資本合計	91,804	95,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,858	41,561
繰延ヘッジ損益	△68	△110
為替換算調整勘定	3,055	△1,373
退職給付に係る調整累計額	△612	△588
その他の包括利益累計額合計	34,233	39,488
非支配株主持分	987	1,064
純資産合計	127,025	135,793
負債純資産合計	305,436	321,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	292,740	288,843
売上原価	272,089	268,449
売上総利益	20,651	20,394
販売費及び一般管理費	14,718	14,714
営業利益	5,932	5,679
営業外収益		
受取利息	152	128
受取配当金	1,140	854
持分法による投資利益	299	286
雑収入	483	431
営業外収益合計	2,076	1,700
営業外費用		
支払利息	533	609
為替差損	589	106
雑損失	147	247
営業外費用合計	1,269	963
経常利益	6,739	6,416
特別利益		
投資有価証券売却益	—	682
特別利益合計	—	682
税金等調整前四半期純利益	6,739	7,099
法人税、住民税及び事業税	2,365	2,207
法人税等調整額	△504	△0
法人税等合計	1,860	2,206
四半期純利益	4,878	4,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,785	4,677

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	4,878	4,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,315	9,673
繰延ヘッジ損益	69	△42
為替換算調整勘定	△1,553	△4,371
退職給付に係る調整額	△7	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△87	△72
その他の包括利益合計	△5,894	5,211
四半期包括利益	△1,015	10,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,113	9,932
非支配株主に係る四半期包括利益	97	171

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,739	7,099
減価償却費	1,129	937
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△90	574
受取利息及び受取配当金	△1,293	△982
支払利息	533	609
持分法による投資損益 (△は益)	△299	△286
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△682
売上債権の増減額 (△は増加)	1,756	△18,591
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,867	△102
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△133	209
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	218	△318
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,806	9,542
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△988	△887
その他	549	510
小計	3,446	△2,368
利息及び配当金の受取額	1,529	1,229
利息の支払額	△527	△528
法人税等の支払額	△2,535	△2,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,913	△4,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△239	△202
定期預金の払戻による収入	2,005	217
有形固定資産の取得による支出	△1,690	△630
有形固定資産の売却による収入	764	1,694
無形固定資産の取得による支出	△290	△266
投資有価証券の取得による支出	△314	△576
投資有価証券の売却による収入	46	914
子会社株式の取得による支出	△373	△400
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△116	276
長期貸付けによる支出	△0	△48
長期貸付金の回収による収入	115	485
その他	12	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	1,437

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,996	3,826
長期借入れによる収入	1,792	2,721
長期借入金の返済による支出	△1,754	△2,231
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,132	△1,245
非支配株主への配当金の支払額	△34	△94
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△20	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	20	—
その他	△41	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,167	2,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	△243	△1,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,576	△993
現金及び現金同等物の期首残高	17,394	17,088
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	49	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,867	16,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	住環境	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	106,864	24,956	18,174	130,831	11,824	292,651	88	292,740	—	292,740
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	106,864	24,956	18,174	130,831	11,824	292,651	88	292,740	—	292,740
セグメント利益	2,126	524	572	2,448	186	5,858	73	5,932	—	5,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	住環境	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	111,510	23,253	19,773	121,531	12,683	288,752	91	288,843	—	288,843
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	111,510	23,253	19,773	121,531	12,683	288,752	91	288,843	—	288,843
セグメント利益	1,591	498	1,012	2,339	162	5,605	74	5,679	—	5,679

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、管理区分を見直し、従来「その他」セグメントに含めていたホイスト、クレーンの設計、施工及び販売事業を「情報電子」セグメントに含めて表示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。